

# Cyoda City Photo Studio 写真館



## 上田知事のとことん訪問

2月15日、上田埼玉県知事が県内各地を巡り、直接県民と意見交換する「とことん訪問」が行われました。

初めに知事が訪れたのは、株式会社風憩セコ関東工場。太陽光を利用したソーラー照明灯や防犯・災害に対応した製品などを開発・生産している同社に強い関心を示していました。その後、行田在来青大豆商品開発・販売促進協議会を訪問し、青大豆を使ったパスタ料理や魚介料理など11品ものコース料理を試食。知事は「行田の魅力を食べから発信してほしい」と青大豆関連食品に大きな期待を寄せていました。

## 昔の暮らしを体験

郷土博物館で、4月1日まで開催している博学連携展示「むかしの暮らし」。この催しは、小学3年生の郷土学習授業に合わせて、明治時代から昭和時代までの暮らしを紹介するもので、2月14日、泉小学校の児童が同館を訪れました。

昔の家の部屋を再現したブースや生活道具が紹介されている展示室では、普段見ることができない展示品に興味津々。ベーゴマやけん玉など昔のおもちゃ遊びも体験しました。

見学に訪れた児童たちは、「とても楽しかった」「春休みになったら、また来たい」と感想を述べるなど、とても充実した体験授業となりました。



## 村野武範さんのユーモア溢れるトークで会場は笑いの渦に

2月5日、「みらい」文化ホールで「みらい文化講演会 村野武範『健康と旅』講演会」が行われました。

この催しの講師として招かれたのは、料理番組「くいしん坊！万才」の7代目レポーターとして活躍した村野さん。不摂生な生活を送ったことから体調を崩した自身の体験を語り、健康な体づくりへの取り組みを紹介してくれました。また、ドラマの撮影現場や同料理番組の裏話など、村野さんのユーモア溢れるトークに会場は笑いの渦に包まれていました。



## 趣ある日本の伝統文化に触れて

1月25日、行田保育園でお茶と触れる会が行われました。講師の指導の下、「お茶を出す」「お茶を飲む」というそれぞれの作法を、たどたどしい手つきで一生懸命学んだ園児たち。紅梅を模した和菓子や、梅が描かれた茶碗で味わうお茶のおいしさに、満足そうな表情を浮かべていました。





## 日ごろの成果を十分に発揮

1月28日、グリーンアリーナで第23回なわとび大会が開催され、小学生367人が参加しました。

この大会は風邪に負けない体力づくりなどを目的に開催されるもので、あや跳びや二重跳び、時間跳びなど計9種目の競技が行われました。参加した児童たちは、1回でも多く跳ぼうと気合い十分。交差跳びでは大会新記録が出たり、時間跳びでは45分間も跳び続けるなど、日ごろの練習の成果を発揮していました。

また、団体の部では、長縄を使った競技が行われ、出場した子供たち全員が心を一つにして跳んでいました。



## 気仙沼直送の 新鮮な海の幸を販売

1月28日、桜町の二桜商和会に「気仙沼のさかな屋さん」がプレオープンしました。

NPO法人さくらメイトとB級ご当地グルメ団体「気仙沼ホルモン同好会」が連携して運営するこの店には、商店街の活性化と被災地復興の願いが込められています。三陸沖で水揚げされた新鮮なメカジキやタラなどが格安で手に入るとあって、大勢の客でにぎわいました。



## 手作りのおひな様に笑顔

2月4日、桃の節句に先駆け、児童センターでひな人形作り紙粘土教室が行われました。

参加した15組の親子は、色付けされた紙粘土で着物を着せたり髪を付けたりして、協力しながら男びなと女びなを作成していました。「かわいくできた」と満面の笑みでひな人形を見つめる子供たちの姿に、保護者の顔もほころんでいました。



## 安心・安全な地域づくりに 強い味方が登場

2月2日、市役所玄関前で消防車両引渡し式が行われました。

今回、新しくポンプ車を引き渡されたのは北部第12分団。工藤市長からメモリアルキーを受け取った後、分団員の皆さんは引き締まった表情で、新しいポンプ車に搭載されている機能の説明を受けていました。同分団に引き渡されたこのポンプ車が、安心・安全な地域づくりの強い味方になることでしょう。

